



大谷資料館(ステージ)



平和観音



大谷景観公園



大谷資料館

# 日本屈指の景勝地

中心市街地から北西約8キロメートルの地点にある大谷地区。自然が作り出した凝灰岩が広く分布し、長い歳月にわたって人が関わることにより、独特の景観が生み出されてきました。

# 石のまち 大谷

大谷地区には、手掘りの時代から機械化された昭和30年代までの大谷石の地下採掘跡がある大谷資料館・平和観音・大谷景観公園・越路岩・御止山など多くのスポットがあり、自然の中に歴史や文化を感じられる日本有数の景勝地です。

また、毎年、大谷景観公園などを会場に、大谷石工作体験など、地元住民が主体となった「フェスタin大谷」などのイベントを開催しています。

## ■第一印象

大谷との最初の出会いは、県外から宇都宮に引っ越しをしてから3カ月くらいたったころでした。日光の帰り道に大谷街道を通ると、石の蔵が連なる家並みがあり、それはとても風情があり心に深く刻まれました。周囲からはほとんど聞かされたことがなかったエリアだったので、「なぜ、ここを教えてくださいなかつたのだらう」という気持ちでした。第一印象から、全国でもまれに見る、他にはないエリアだと思いました。

それから2年近く県内全域の観光事業に携わりましたが、ツアーを企画するために、昨年9月に改めて、大谷地区を見てみると、歴史的背景と大谷石職人の粋を感じました。さらに地元の人たちから石材業が盛んだったころの話しを聞き、想像以上に、奥深い世界が広がっていることを知りました。

## ■観光における大谷地区の可能性

大谷景観公園1つを取ってみても、

## ■大谷石の調和力

大谷石に注目してみると、いろいろな質感があり、それぞれに趣があると思います。そして、木花、ガラスなど、いろいろなものと組み合わせると、大谷石の素朴な感じ、温かい雰囲気、クールな表情など、異なった素材とでもうまく融合し、大谷石の持っている懐の深さを感じます。私はその「調和力」こそが、大谷石の最大の魅力だと思います。

## ■地域と一緒に盛り上がる

私自身、旅行が趣味な上、仕事柄、全国の観光地を見てきました。印象深い旅行やもう一度行きたいと思う土地

全国でも数少ない、人工美と自然美の融合した場所だと思います。歴史もとても興味深く、昔、石を運ぶために使用されていたトロッコの線路やトンネルの場所、昭和初期の写真など、日々、驚きと発見の連続です。

また、いろいろな側面を持つ大谷地区には、グリーンツーリズムや、地質学と地形学・景観・地形などの自然資源を対象としたジオツーリズム、自然・歴史・文化など地域固有の資源を対象としたエコツーリズムなど、多種多様なツーリズムが成り立つ可能性を感じています。

さまざまな視点・観点・年齢層に対応できるスポットが存在していることも、大谷地区の魅力の1つではないでしょうか。

また、その地域でお薦めの観光資源を基にした旅行商品や体験プログラムをお届けする着地型観光は、見るだけでなく何か体験してみたい、その土地の風土を肌で感じたいという人に大谷の魅力を知っていただく最適な観光方法だと思います。

には、「心で交わる観光」があると思います。「あの時、あの場所こんなことを教えてくれたな、あの親切な観光タクシーの運転手さんや街を案内してくれた地元ガイドさんなど、もう一度会ってお礼がしたい」と、「その土地の人」の存在が重要だと感じています。地元の人にとっては身近な大谷という空間ですが、もう一度大谷という場所の魅力を感じ、それを発信していくことで、地域が盛り上がっていくのではないかと思います。

大谷地区は、個性的で、この地域ならではのさまざまな体験・景観を楽しめる、他の観光地に勝るとも劣らない魅力がぎゅっと詰まった場所ではないでしょうか。



花器(藤本・渡邊共同製作)



ファーマーズフォレスト・着地型観光コーディネーター 石崎 美映子さん